

## 令和3年度ウエザリング技術研究成果発表会開催のご案内

- 主催 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター
- 協賛 一般社団法人日本塗料工業会, 日本プラスチック工業連盟,  
一般社団法人日本防錆技術協会, 公益財団法人スガウエザリング技術振興財団
- 開催日 2021年11月25日(木)
- 会場 オンライン開催
- 参加料 無料
- 参加申込 当財団 web サイト上の発表会ページ(<http://www.jwtc.or.jp/seminar/>)でお申し込みください。

※申し込みには Google フォーム を利用しております。

参加申込の送信後、Google フォーム (forms-receipts-noreply@google.com) より  
入力内容の確認メールが入力頂いたメールアドレスに送信されます。  
確認メールが届かない場合、入力頂いたメールアドレスに間違いがある可能性が  
ありますので、事務局までご相談ください。



参加申込 QR コード

## プログラム

時 間	テーマ・講師
13:00~13:05	開会挨拶 当財団 理事長 西方 篤
13:05~13:55	金属の腐食防食、めっきに関するISO活動とその経験と課題 ISO/TC156国内対策委員会 委員長 伊藤 叡
14:05~14:55	アルミニウム合金部材連結部の異種金属接触腐食に関する耐久性 —宮古島における長期暴露試験結果を中心として— 公益財団法人名古屋産業科学研究所 伊藤 義人
14:55~15:10	休憩
15:10~16:00	日本ウエザリングテストセンター (JWTC) における耐候性試験について 当財団 職員
16:10~16:15	閉会挨拶 当財団 専務理事 相沢 幸一

## 発表の概要

金属の腐食防食、めっきに関する ISO 活動とその経験と課題	ISO/TC156 国内対策委員会 委員長 伊藤 叡
ISO/TC156（金属及び合金の腐食）、TC107（金属及び無機被覆）は金属種の規格体系を議論する TC とは異なり、その耐食性や表面被覆についての国際標準化を推進している。こうした要素技術分野は金属が利用されるその時々ニーズを強く反映して、試験法や利用法の規格として提案される。その観点から現在の活動の概要をのべ、推進するうえで直面した課題と経験のいくつかを述べ、今後の規格化実行の糧になればと考える。	
アルミニウム合金部材連結部の異種金属接触腐食に関する耐久性 —宮古島における長期暴露試験結果を中心として—	公益財団法人名古屋産業科学研究所 伊藤 義人
アルミニウム合金の防護柵や高欄の各所の部材連結部を模擬した 250 体の試験体を用いて、宮古島の暴露試験場において 1 年間、3 年間および 5 年間の長期の屋外暴露試験を実施し、異種金属接触腐食の性状について定量的に明らかにした。沖縄本島と宮古島の現地調査結果と長期屋外暴露試験結果を基に異種金属接触腐食の特性を明らかにし、最後にアルミニウム合金部材連結部の異種金属接触腐食の耐久性を高める方策について講演を行う。	
日本ウエザリングテストセンター (JWTC) における 耐候性試験について	当財団職員
当財団では、耐候性試験として屋外暴露試験及び促進劣化試験の事業を実施している。屋外暴露試験は、北海道旭川市・千葉県銚子市・沖縄県宮古島市の各暴露試験場で実施しており、それぞれの施設の特徴及び試験場の環境を紹介する。銚子暴露試験場では、耐候性試験機・腐食試験機を使用した促進劣化試験を実施しており、それらの設備及び特徴についての紹介も行う。	

- 留意事項**
1. 参加申込締切日は、11 月 18 日迄とし、定員は 150 名とします。
  2. 申込受付を事務局にて確認後、参加申込者宛にメールにてご連絡いたします。
  3. 配信 URL 及びテキストは、前日までにメールにてお知らせいたします。

発表会に関するお問い合わせ

一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 〒105-0011 東京都港区芝公園 1-1-11  
TEL : 03-3434-5528 FAX : 03-3434-5529  
E-mail : [tokyo@jwtc.or.jp](mailto:tokyo@jwtc.or.jp)